

東京都少年サッカー連盟 第14ブロック規約(案)

OFFICIAL

第1章 総則

- 第1条 (1) 本組織は、「東京都少年サッカー連盟第14ブロック」と称する。(以下「14ブロック」という。)
- (2) 14ブロックは、日本サッカー協会第四種に登録し、活動本拠地が「小平市・東大和市・東村山市」に所在するチーム(以下、「加盟チーム」という。)が加盟する。
- (3) 14ブロックは、第3条の目的を達成するために必要な条件を備え、且つその運営と活動に協力するチームである事を加盟の原則とし、小学生チーム(女子チームを含む)で組織される。
- (4) 14ブロックは、「東京都少年サッカー連盟」の指導、議決により変更される。
- (5) 14ブロックは、加盟チームの代表者・指導者・選手等のチーム関係者、及び、第4章で定義される組織と役員により構成される。(以下「会員」という。)
- 第2条 (1) 14ブロックの事務所を、委員長宅に置く。

第2章 目的

- 第3条 (1) 14ブロックは、日本サッカー協会、東京都サッカー協会、東京都少年サッカー連盟(以下「上位組織」という。)の事業年間計画に基づき、少年サッカー競技の運営及び普及、振興を図ると共に、本技を通じて体位の向上と相互の親睦を深め人格の形成、並びに青少年の育成に寄与することを目的とする。
- 第4条 (1) 第3条の目的に反する宗教的、政治的活動は一切行わないものとする。

第3章 事業

- 第5条 (1) 14ブロックは第3条の目的を達成するために、次の事業を行う。
- ① 日本サッカー協会及び東京都サッカー協会・同少年連盟の主催及び後援する大会の運営。
- ② サッカー技術の普及に関する各種事業及び指導者の育成・向上を図る。
- ③ 指導者技術の向上のための育成、意思統一を図る。
- ④ 審判技術の向上のための講習会、研修会の開催。
- ⑤ その他、第8条の「運営委員会」により審議し、決定した14ブロック内の独自大会等の開催。

第4章 組織と役員

- 第6条 (1) 14ブロックには、理事会を置く。
- (2) 理事は委員長、副委員長、会計監査から構成される。
- (3) 理事会は14ブロック全ての運営を統括する。
- (4) 委員長は上位組織との代表窓口役を担い加盟各チームへその内容を伝達する義務を持つ。
- (5) 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に有事があった時はその任務を代行する。
- (6) 理事会には必要に応じ顧問を置くことができる。顧問は理事として委員長、副委員長の補佐を行う。
- 第7条 (1) 14ブロックには、役員会・規律委員会を置く。
- (2) 役員・規律委員は技術指導部・審判部・会計部・広報部の部長・副部長と運営部の部長・副部長・各市担当及び上位組織役員とその部員から構成される。
- (3) 役員会・規律委員会は理事と役員から構成され、委員長が召集し会務全体について審議する。
- 第8条 (1) 14ブロックには運営委員会を置く。
- (2) 運営委員は運営部・技術指導部・審判部・会計部・広報部の部長・副部長及び運営部員・技術部員・審判部員・広報部員・会計部員上位組織役員とその部員から構成される。
- (3) 運営委員会は理事会・役員会・運営委員から構成され、ブロック運営を審議し、委員長が必要に応じて召集できる。
- 第9条 (1) 運営部は各市より承認された部員及び理事会で承認された部員で構成される。
- (2) 運営部は部長・副部長・各市担当を置くことができる。
- (3) 運営部は運営委員会と充分に連絡を取り、ブロック大会など積極的に企画運営を行う。
- (4) 運営部は第5条で定義した事業を支援する。なお、加盟チームに第5条の事業を遂行するための支援を要請することができる。
- (5) 運営部は上位組織から大会役員の派遣要請があったときは、部長の指示により、加盟チームから大会役員の派遣ができる。
- 第10条 (1) 技術指導部は各市または技術部長より推薦された部員(JFA公認有資格者等)で構成される。
- (2) 技術指導部は部長、副部長の他に会計等を必要に応じて置くことができる。
- (3) 技術指導部は運営委員会と充分連絡を取り「指導者研修」「技術講習会」等、積極的に企画運営を行う。
- (4) 技術指導部は上位組織の技術指導方針に沿ったトレーニング活動を通じ、部員および加盟チーム選手の技術向上に努める。
- (5) 技術指導部は上位組織から大会運営員の派遣要請があったときは、部長の指示により、技術指導部員を派遣させる。
- (6) 技術指導部の活動内容は、「運営委員会」に報告される。
- 第11条 (1) 審判部は各市または審判部長より推薦された部員(JFA公認有資格者等)で構成される。
- (2) 審判部は部長、副部長の他に会計等を必要に応じて置くことができる。

- (3) 審判部は運営委員会と充分連絡を取り「審判員研修会」等、積極的に企画運営を行う。
- (4) 各種大会の試合に「運営委員会」より要請があったときは、審判部から審判員を派遣する。
- (5) 審判部の活動内容は、「運営委員会」に報告される。

- 第12条 (1) 会計部は理事会または会計部長より推薦された部員で構成される。
(2) 会計部は部長・副部長を置くことができる。
(3) 会計部は上位組織への登録費・参加費等の納入を代行する。
(4) 年会費および各事業に対する参加費を各チームから徴収する。会計監査の監査を受け「総会」で決算報告を行う。
- 第13条 (1) 広報部は理事会または広報部長より推薦された部員で構成される。
(2) 広報部は部長・副部長を置くことができる。
(3) 広報部は運営委員会と充分連絡を取り、ホームページ等を用いて会員への情報連携を行う。
- 第14条 (1) 運営委員会は、立候補もしくは推薦・互選とし「総会」で承認を得る。
(2) 技術指導部、審判部の部長・副部長は各部員の中から選び「総会」で承認を得る。
- 第15条 (1) 役員・規律委員の任期は一年とし、再任は妨げない。但し、欠員により就任した役員の任期は前任者の残存期間とする。
(2) 技術指導部、審判部各部員の任期は一年とし再任は妨げない。
(3) 役員・規律委員、技術部員、審判部員が第30条にふれたときは、その時に任期を終了する。
(4) **委員長、副委員長、専門部長は就任時に満68歳以下とする、ただし、総会の承認を得た場合はその限りではないが定年は70歳とする。※規約改定時に現職(委員長、副委員長、専門部長)で抵触する場合、一定期間の猶予期間を設定する。猶予期間の決定は、役員会の承認後、「総会」で承認を得る。**

第5章 会議と議決

- 第16条 (1) 会議は、「理事会」「役員会・規律委員会」「運営委員会」「総会」「臨時総会」とする。
(2) 「役員会・規律委員会」は、14ブロックの執行機関で委員長提案の「議決」と各種大会の運営方法及び組合せ方法を審議し、決定する。
(3) 「総会」は、毎年1回委員長が召集し、開催する。事業活動、年間予定、会計報告及び役員の改選等を決定する。
(4) 「臨時総会」は、加盟チーム代表の過半数の要請があった場合、または委員長が召集し開催する。
(5) 「総会」「臨時総会」に参加した者は、そのチームの代表とみなす。
- 第17条 (1) 議決は、参加者の過半数を持って決定する。但し、可否同数の時は議長または委員長がこれを決定する。
- 第18条 (1) 本規約改正及び定められていない事項については「総会」で承認を得る。

第6章 会計及び運営費

- 第19条 (1) 14ブロックの経費は年会費、各種大会の参加費及び寄付金、上位組織からの運営費等を持ってこれに充てる。
(2) 年会費は、第29条の「役員会」で審議、決定され徴収する。
(3) 各種大会参加費は、上位組織の参加費を基本とするが、運営上過不足が生じる場合は「役員会」で審議し、決定できる。
(4) 運営部、技術指導部、審判部、会計部、広報部の年間経費及び初期登録費は総会で承認される。
- 第20条 (1) 14ブロックの事業及び運営上必要と認められた費用を「役員会」で審議決定し、臨時に徴収できる。
- 第21条 (1) 大会試合中に起きた事故(人身事故、財物損壊)は、加盟チームで加入している「スポーツ傷害賠償保険」またはそれに類する保険の適用を受けるが、いかなる理由にせよ14ブロックでは補償しない。
- 第22条 (1) 大会運営費として、会場使用料、審判員に手当を支払う。また、役員、技術指導員の派遣要請があった場合は、手当てを支払う。
(2) 有料施設を会場として使用する場合は、別に実費を支払う。支払いの細目は第29条による。
- 第23条 (1) 運営委員会が、14ブロックの運営上必要な会議等を開催する際は、会議室利用料等の実費を支給する。
- 第24条 (1) 会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終了する。
- 第25条 (1) 14ブロックに会計監査を置く、監査は1名以上とする。

第7章 運営

- 第26条 (1) 登録選手は日本サッカー協会「第四種加盟登録」を原則とする。
- 第27条 (1) 各事業はその事業を運営部に一任できる。
(2) 「運営部員」の変更は「運営委員会」で審議し、決定できる。
(3) 各種大会の運営は、「運営委員会」で行う。「運営委員会」の要請があった場合、加盟チームは協力する。

- 第28条 (1) 大会会場運営・設営に関しては会場提供チームに原則一任する。また、「運営委員会」から要請があった場合、加盟チームは協力する。
- 第29条 (1) 年会費ならびに各種事業等の役割分担は、「役員会」で審議し、決定する。
(2) 「事業の細目」は、別紙にて表示する。

第8章 罰則

- 第30条 (1) 全ての会員は14ブロックの規約、大会規定、競技規則、運営及び事業に違反し、14ブロックの名誉を著しく汚し、多大なる迷惑や損害を与えたときは、その内容を「役員会・規律委員会・理事会」で十分に審議を行い、その処分は「都少年サッカー連盟役員会」の決議に従う。

付則

- 第31条 (1) 本規約の施行について必要な事項に関する細則は、別に定める。

- 第32条 (1) 本規約は、**令和7年4月1日より施行する。**

改定履歴

- | | | |
|-----------|---|--|
| 2014/3/30 | 1 | 1条3項に女子チームを含むことを明記 |
| | 2 | 7条2項、8条2項の構成員に「上位組織役員とその部員」を追加 |
| | 3 | 30条1項に処分は「都少年サッカー連盟役員会」の決議に従う旨を追記
上記改定に関しては、2014/3/30開催の2014年度総会にて承認済の為、2014/4/1より施行する。 |
| 2017/2/28 | 1 | 9条1項に各市協会非加盟チームからも運営部員を選出できる旨を追記 |
| | 2 | 12条1項、2項を追加し、会計部員の構成条件を追記 |
| | 3 | 13条1項、2項を追加し、広報部員の構成条件を追記 |
| | 4 | 8条2項の運営委員会の構成員に広報部員、会計部員を追加 |
| | 5 | 16条2項の14ブロックの執行機関を運営委員会から役員会に変更 |
| | 6 | 7条2項、8条2項の構成員に「運営部各市担当」を追加 |
| | 7 | 9条2項に「各市担当」を配置でき旨を追記 |
| | 8 | 8条3項の誤植訂正
上記改定に関しては、2017/3/25開催の2017年度総会にて承認済の為、2014/3/26より施行する。 |
| 2018/3/4 | 1 | 「技術部」の名称を上位組織の呼称に合わせて「技術指導部」とした。 |
| 2025/3/16 | 1 | 委員長、副委員長、専門部長の定年70歳とする。 |